



樹木の安全点検 — キノコと樹木の腐朽

梅 雨になり、雨が多くなるとキノコをよく見かけるようになります。キノコは皆さんにとって食べものとして馴染み深いものかと思いますが、実はカビの仲間の菌類に分類され、なかには樹木の材を腐らせるものがあります。

種 類によって腐らせる樹木の部位や腐朽力は異なっており、特に腐朽力の強いコフキタケやベッコウタケなどが確認された場合は、幹や枝、あるいは根株の中が腐っており、枝折れや倒木などの危険性が高くなっていることがあります。そのため、危険なキノコでないか種類を見分けることが重要です。ただし、同じ種類のキノコでも個体によって形は様々で似た種類のものも多いため、見分けるためには、ある程度経験が必要になります。



コフキタケ



キノコによる幹内部の腐朽

疑 わしいキノコを見つけた場合は、キノコを取り除かないで 専門家に相談しましょう。キノコの本体は菌糸と呼ばれるとても細い糸状の組織で、これが樹木の中に入り込んで材を腐らせているため、キノコを取り除いても被害は止まりません。また、キノコを取り除いてしまうと後から被害の診断を行うことが難しくなるので、残しておきましょう。

被害が大きい場合は、枝が折れたり樹木が倒れたりしないように支柱の設置や剪定など、被害状況に応じた処置が必要になります。